

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名	一般国道6号 <small>うしくつちうら</small> 牛久土浦バイパスⅡ期		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自： <small>いばらきけん</small> 茨城県つくば市高崎 至： <small>いばらきけん</small> 茨城県つくば市西大井	自： <small>いばらきけんつちうらしな</small> 茨城県土浦市中村西根 至： <small>いばらきけんつちうらしな</small> 茨城県土浦市中	延長	4.6km		
事業概要						
一般国道6号は、東京都中央区から柏市、土浦市、水戸市などを通過し、仙台市に至る延長約375kmの主要幹線道路である。牛久土浦バイパス（Ⅱ期）は、一般国道6号（現道）の渋滞解消や圏央道へのアクセス道路としても機能する延長4.6kmのバイパス事業である。						
H26年度事業化		H6年度都市計画決定		H26年度事業化		H28年度用地買収着手
全体事業費		約175億円		事業進捗率		2% 供用済延長
計画交通量		約21,700～約29,600台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	(事業全体) 3.6	(残事業)/(事業全体) 145/145億円 事業費：128/128億円 維持管理費：17/17億円		(残事業)/(事業全体) 519/519億円 走行時間短縮便益：433/433億円 走行費用減少便益：58/58億円 交通事故減少便益：27/27億円		平成25年
感度分析の結果						
【事業全体】交通量：B/C=3.2～3.9（交通量±10%） 事業費：B/C=3.3～3.9（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.2～3.8（事業期間±20%）						
【残事業】交通量：B/C=3.2～3.9（交通量±10%） 事業費：B/C=3.3～3.9（事業費±10%） 事業期間：B/C=3.2～3.8（事業期間±20%）						
事業の効果等						
①国道6号の渋滞緩和						
・牛久土浦バイパスの前後区間は、藤代バイパス、土浦バイパスが整備されており、ボトルネックとなっていることから、交通が集中し、渋滞が発生。						
・事故類型別事故発生状況では、車両相互の追突事故が区間全体で約7割発生。						
・牛久土浦バイパスの整備により、交通の円滑化が図られ、交通渋滞の緩和、交通事故の減少が見込まれる。						
②圏央道へのアクセス強化						
・土浦市にある食品加工工場では、国道6号（現道）及び圏央道を介して関東各地の店舗や、他地方の各拠点へ製品を出荷。						
・牛久土浦バイパスの整備により、圏央道つくば牛久ICへのアクセス性が向上し、製品出荷能力の向上に寄与。						
関係する地方公共団体等の意見						
・茨城県知事の意見						
一般国道6号牛久土浦バイパスは、国道408号、学園西大通り、学園東大通り等の主要な幹線道路と交差するとともに、圏央道つくば牛久ICと接続し、常磐道・圏央道へのアクセス性が向上し、地域の活性化に大きな効果があると期待しています。また、本バイパスの整備により、現道からの交通の転換が図られ、渋滞緩和及び交通事故の減少が見込まれることから、事業の必要性が高く、継続は妥当と考えます。今後の事業推進に当たっては、徹底したコスト縮減を図るよう、お願いします。						
事業評価監視委員会の意見						
事業の継続を承認する。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
周辺では、鉄道駅周辺開発が進行中。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
つくば区間（つくば市高崎～つくば市西大井）の用地取得率は3%（平成29年3月末、面積ベース）。土浦区間（土浦市中村西根～土浦市中）の用地取得率は14%（平成29年3月末、面積ベース）。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
暫定2車線開通に向け用地買収を推進。						
施設の構造や工法の変更等						
技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。						
対応方針	事業継続					

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、現道の渋滞緩和、交通事故の減少、圏央道へのアクセス向上の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが必要。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。